

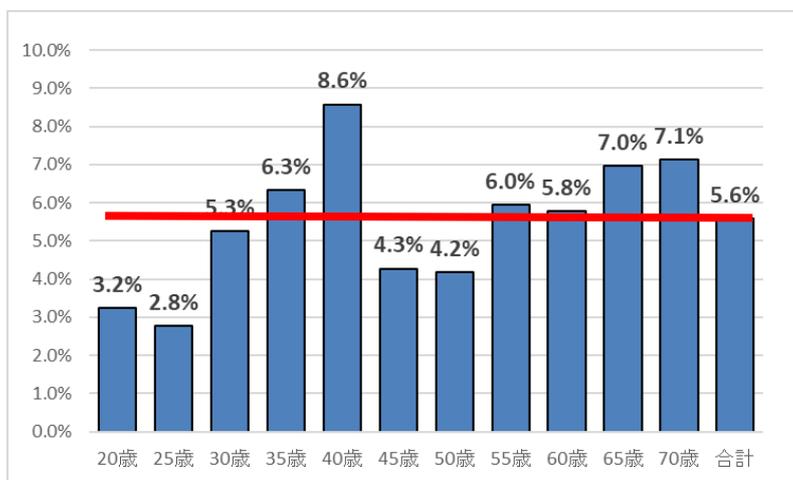
# 平成30年度 成人歯科健康診査 集計結果

資料6

## ■ 年齢別受診率 ■

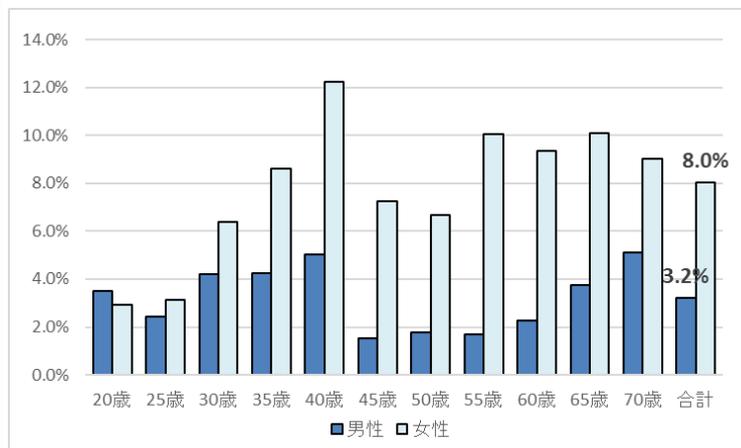
平成30年度の総受診者数は2,588名、受診率は5.6%であった。  
 受診者は20歳で男性が多かったが、その他の年齢では男性に比べて女性の受診者が多く、  
 年齢別受診率では、40歳、70歳、65歳の順で高率であった。

	対象者数	受診者数	受診率
20歳	3,371	109	3.2%
25歳	3,244	90	2.8%
30歳	3,465	182	5.3%
35歳	3,779	239	6.3%
40歳	4,210	361	8.6%
45歳	5,335	228	4.3%
50歳	4,882	204	4.2%
55歳	4,234	252	6.0%
60歳	4,083	236	5.8%
65歳	4,370	304	7.0%
70歳	5,365	383	7.1%
合計	46,338	2,588	5.6%



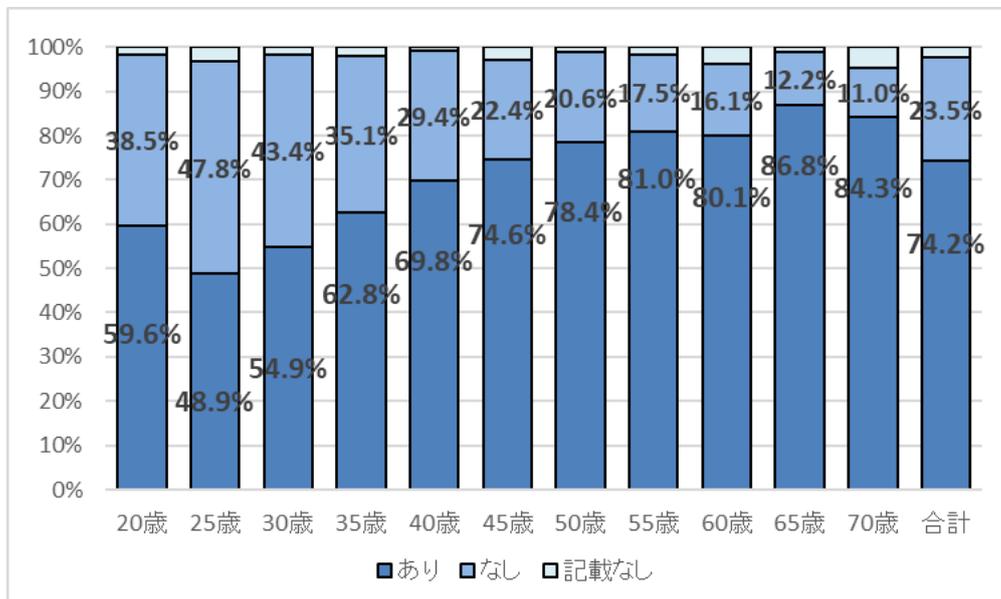
## ■ 男女別受診率 ■

	対象者数		受診者数		割合	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20歳	1,705	1,666	60	49	3.5%	2.9%
25歳	1,688	1,556	41	49	2.4%	3.1%
30歳	1,800	1,665	76	106	4.2%	6.4%
35歳	1,963	1,816	83	156	4.2%	8.6%
40歳	2,142	2,068	108	253	5.0%	12.2%
45歳	2,767	2,568	42	186	1.5%	7.2%
50歳	2,479	2,403	44	160	1.8%	6.7%
55歳	2,072	2,162	35	217	1.7%	10.0%
60歳	2,066	2,017	47	189	2.3%	9.4%
65歳	2,157	2,213	81	223	3.8%	10.1%
70歳	2,588	2,777	132	251	5.1%	9.0%
合計	23,427	22,911	749	1,839	3.2%	8.0%



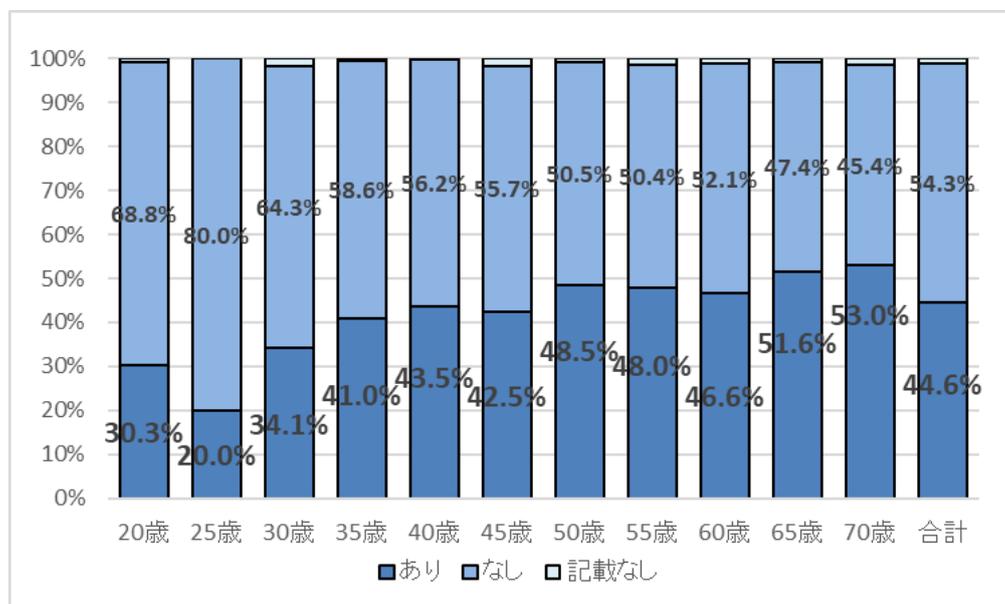
## ■ かかりつけ歯科医の有無 ■

受診者全体の 74.2%の方が「かかりつけ歯科医がある」と回答した。  
年齢別にみると、25歳で低率の 48.9%、65歳で 86.8%と高率であった。



## ■ 定期的な歯科健診の有無 ■

受診者全体の 44.6%の方が「1年間に歯の健康診査を受けたことがある」と回答した。  
年齢別では、25歳で低率の 20.0%、70歳で 53.0%と高率であった。



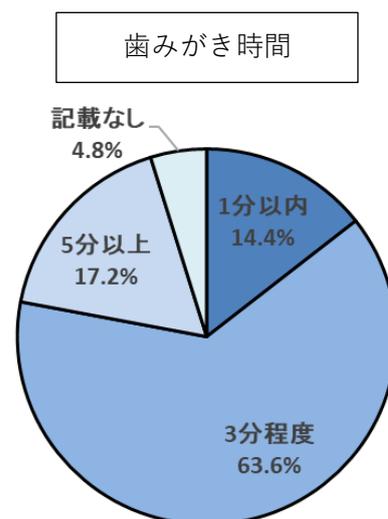
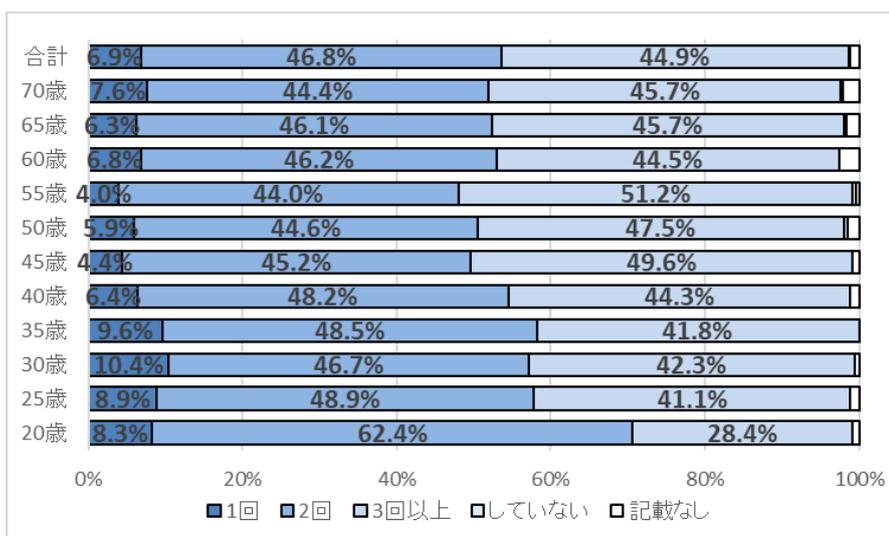
## ■ 1日の歯みがき回数 ■

受診者全体の1日に行う歯みがき回数では、1回の歯みがきが6.9%、2回が46.8%、3回以上が44.9%であった。

どの年齢でも80%以上が2回以上行うと回答した。

3回以上の歯みがきの実施は、55歳、45歳、50歳の年齢で高率であった。

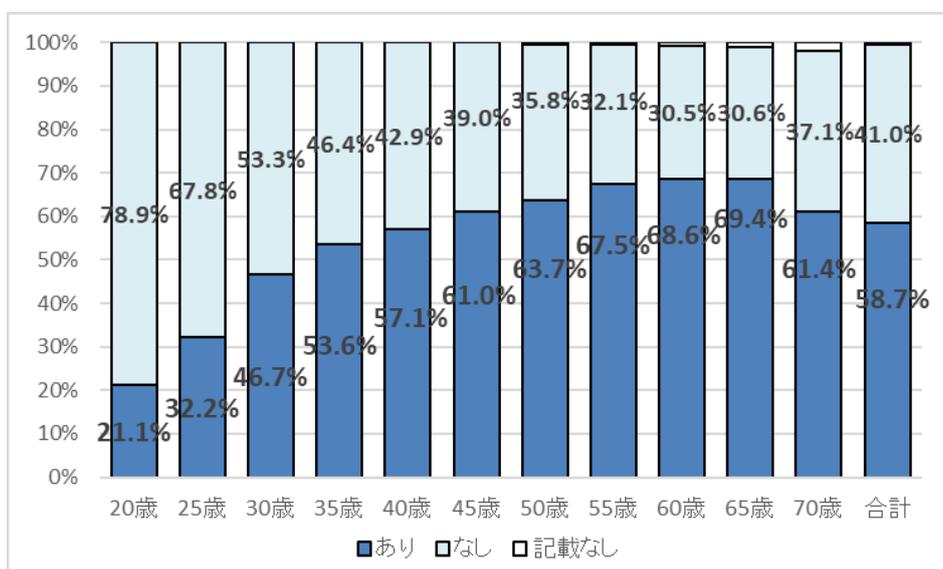
一回の歯みがき時間にかかる時間は、1分以内が14.4%、3分程度が63.6%、5分以上が17.2%であった。



## ■ 歯間清掃用具の実施状況 ■

全体での歯間清掃用具の実施率は、58.7%であった。

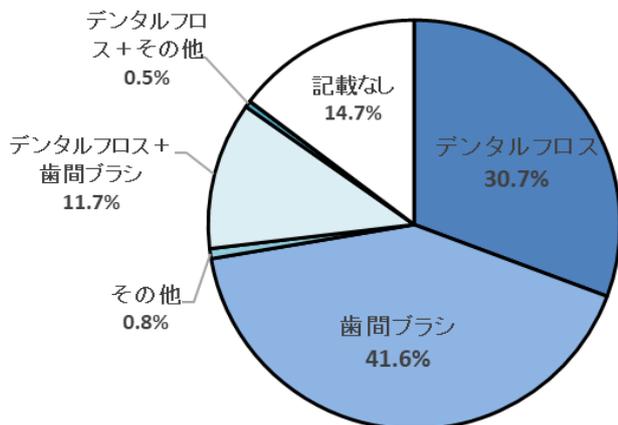
年齢別に見ると65歳で高率の69.4%、20歳で低率の21.1%であった。



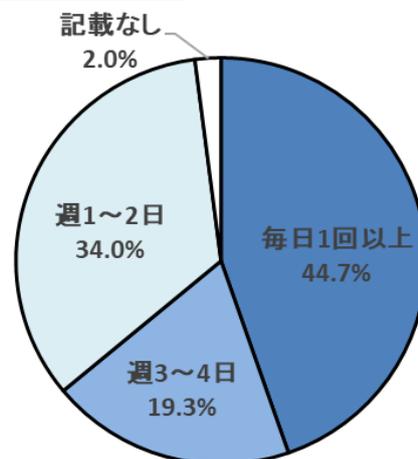
## ■ 歯間清掃用具の種類と使用頻度 ■

使用している歯間清掃用具は、歯間ブラシが最も多く 41.6%であった。  
 使用頻度は、毎日 1 回以上実施している者が高率の 44.7%であった。

種類



使用頻度



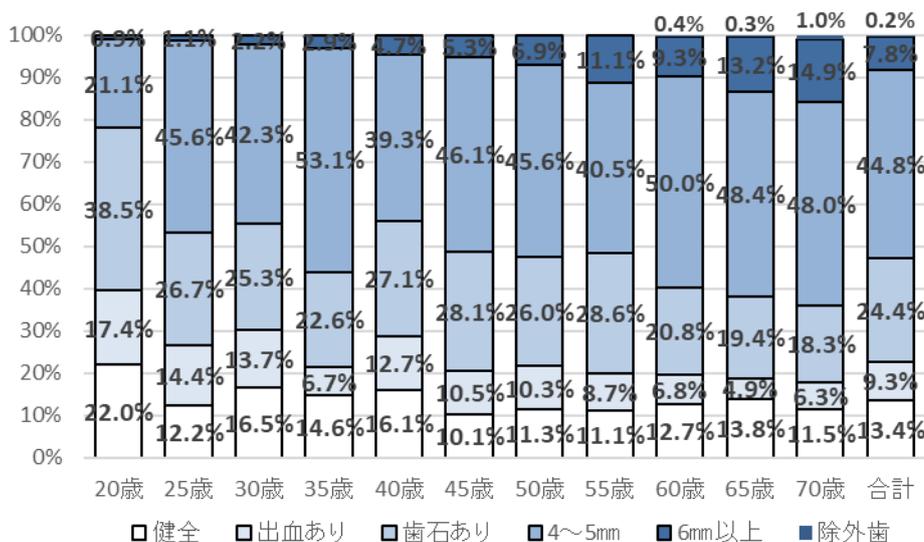
## ■ CPI の状況 ■

CPI 状況では、3（歯周ポケット 4～5 mm）の割合が最も高く 44.8%であった。

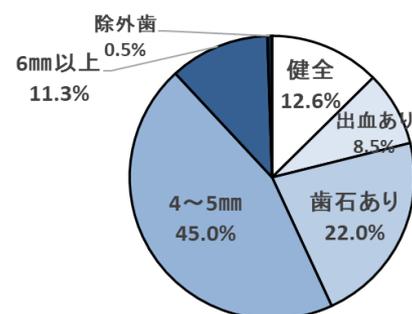
男女別では、CPI 3、4 の割合が男性の方が高率であった。

※CPI(歯周ポケットの計測)

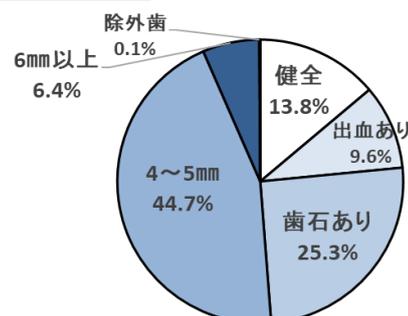
- 0：健全(良好な状態)
- 1：出血あり(歯肉に軽い炎症あり)
- 2：歯石あり(歯石がついている状態)
- 3：歯周ポケット 4～5 mm に達する
- 4：歯周ポケット 6 mm に達する
- ×：除外歯



男性



女性

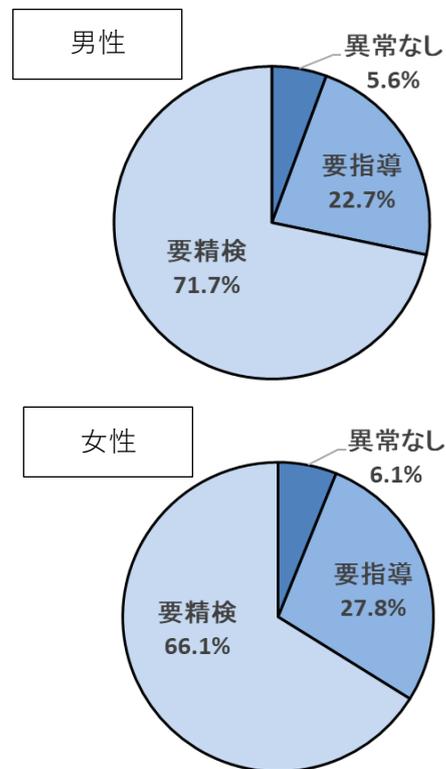
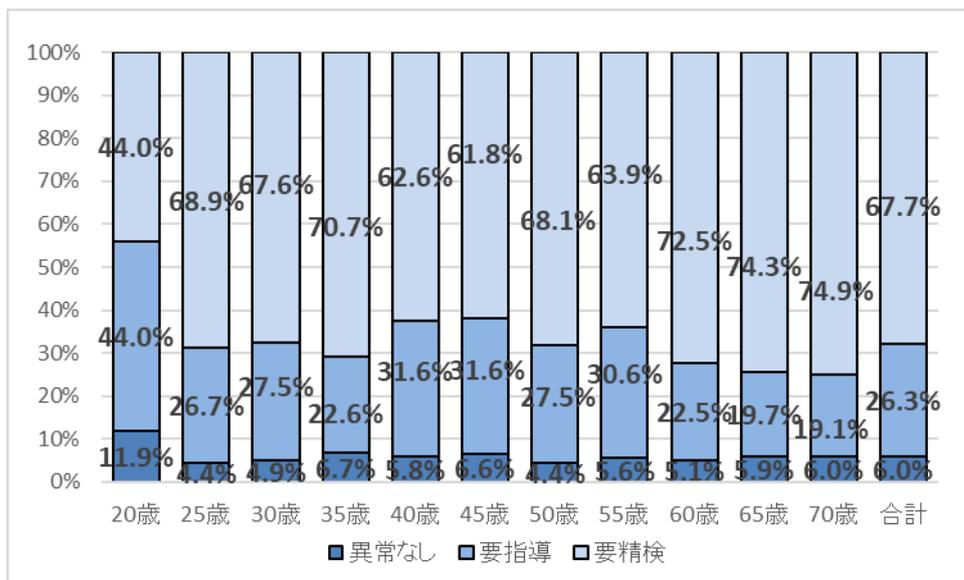


## ■ 診査結果 ■

診査結果では、67.7%が要精検であった。

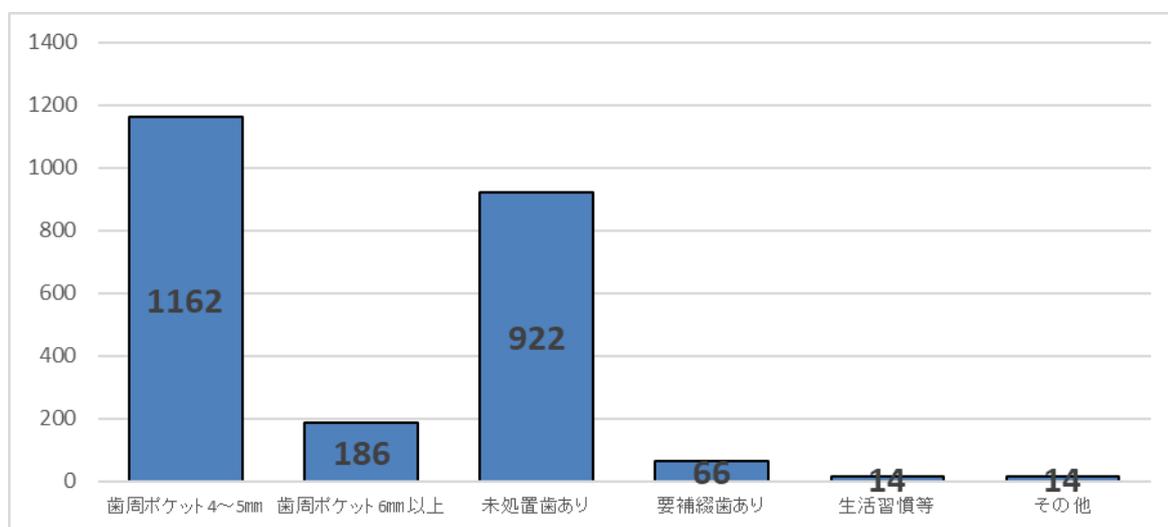
70歳の診査結果が最も悪く、74.9%が要精検であった。

男女別診査結果では、女性に比べ男性の方が要精検の割合が高い傾向であった。



## ■ 要精検内容 ■ 複数回答あり

要精検内容では、歯周ポケット4～5mmでチェックされた方が最も多く、次いで未処置歯ありであった。

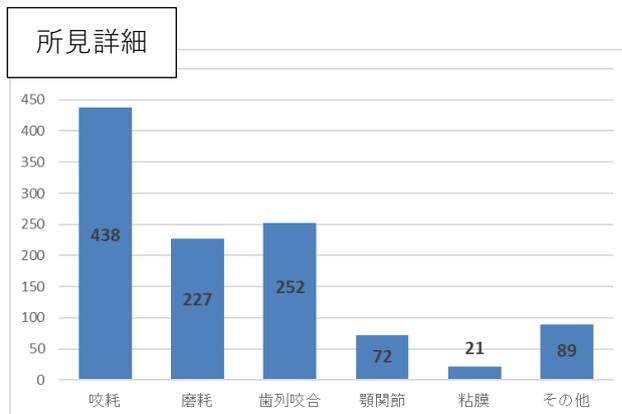
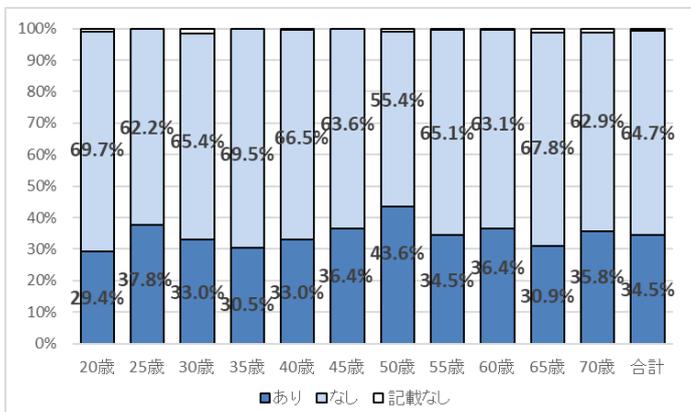


## ■ 所見の有無 ■

所見ありの割合は 34.5%であった。年齢別では 50 歳で高率の 43.6%であった。

所見の内容では咬耗、次いで歯列咬合が多く見られた。

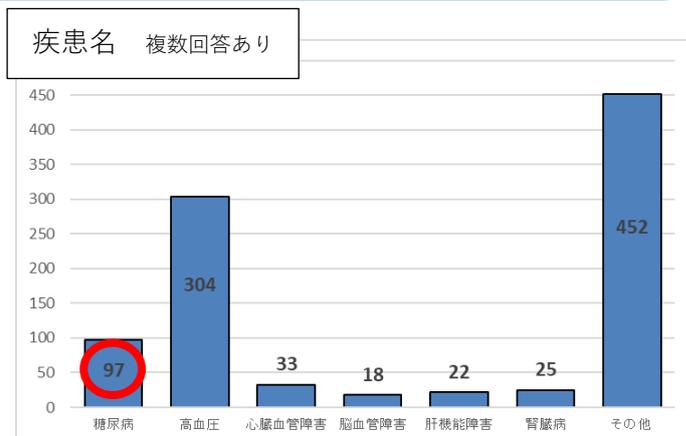
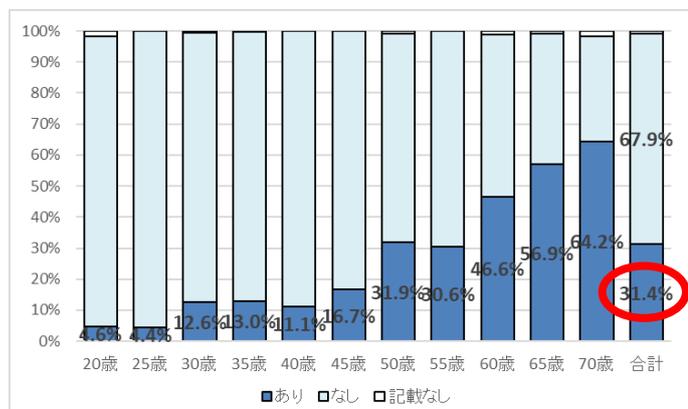
**咬耗**：歯と歯の接触によるもの  
(くいしばり、歯ぎしり)  
**磨耗**：歯ブラシによる外傷  
(くさび状欠損)



## ■ 治療中の病気の有無 ■

受診者数 2,588 人中、治療中の病気のない方は 1,757 人 (67.9%)、

治療中の病気のある人は 812 人 (31.4%)、治療中の病気のうち糖尿病治療中の人は 97 人であった。



## ■ 糖尿病との関連 ■

糖尿病治療中の方の要精検の割合は、病気なし・病気ありに比べて高率であったが、異常なしの割合も高率であった。

また糖尿病治療中の方の CPI の状況は、病気なし・病気ありに比べて歯周ポケット 6 mm 以上の割合が高い結果であった。

※CPI(歯周ポケットの計測)

0：健全(良好な状態)

1：出血あり(歯肉に軽い炎症あり)

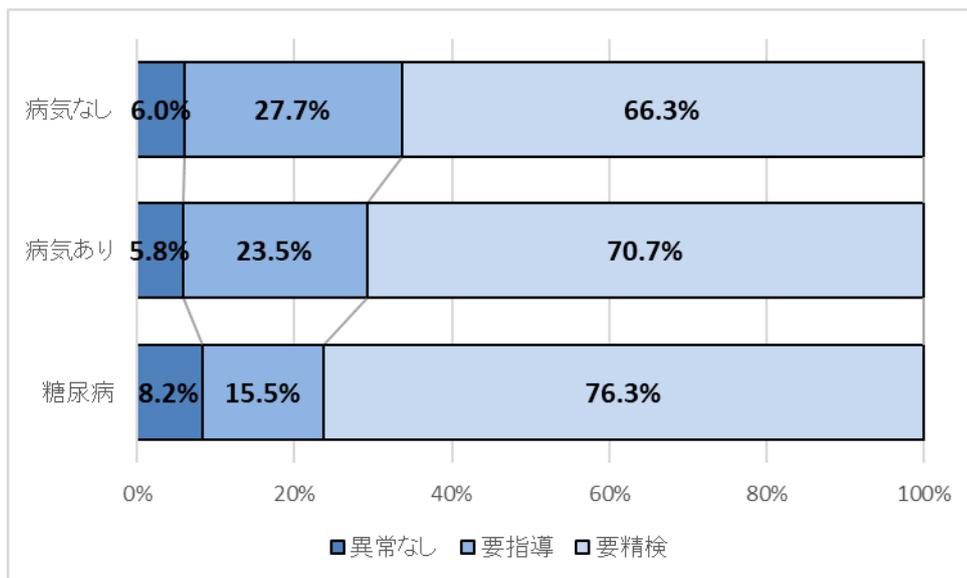
2：歯石あり(歯石がついている状態)

3：歯周ポケット 4～5 mm に達する

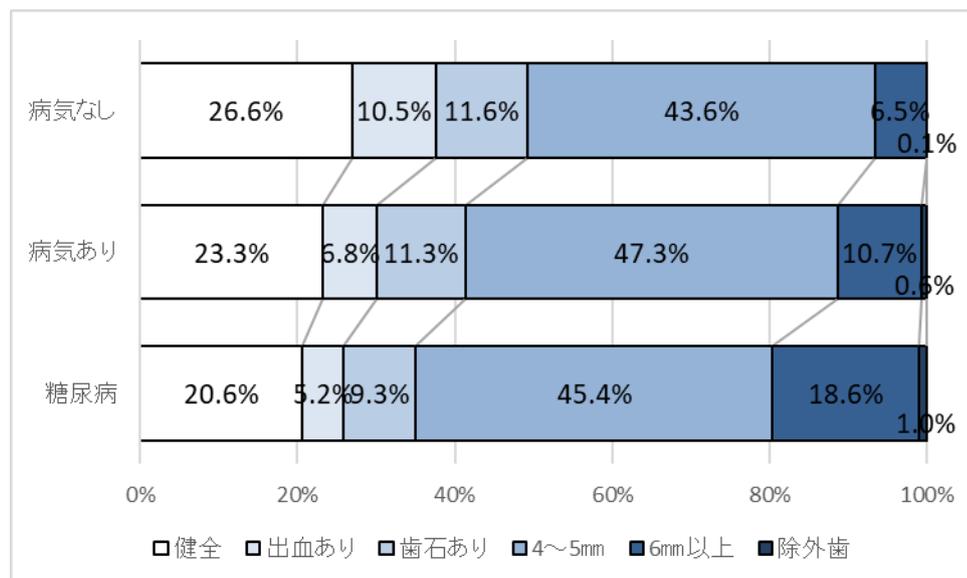
4：歯周ポケット 6 mm に達する

×：除外歯

### 診査結果



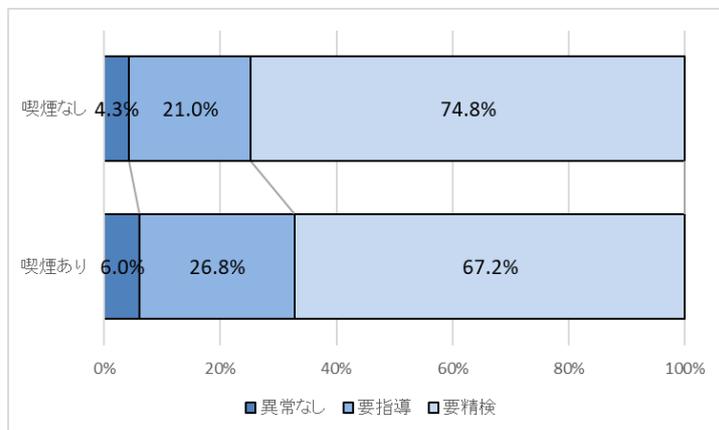
### CPI



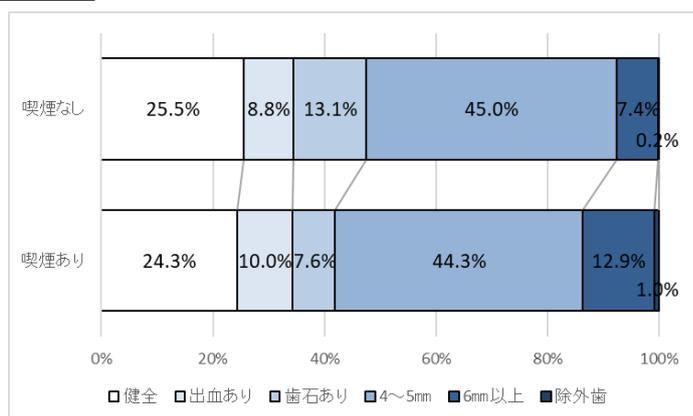
## ■ 喫煙との関連 ■

受診者 2,588 人中、喫煙ありは 210 人 (8.1%)、喫煙なしは 2,358 人 (91.1%) であった。  
 喫煙ありの要精検の割合は、喫煙なしに比べ高率であった。  
 また喫煙ありの CPI の状況は、喫煙なしに比べて「3、4 (4~5 mm のポケット、6 mm 以上のポケット)」の割合が高い結果であった。

### 診査結果



### CPI

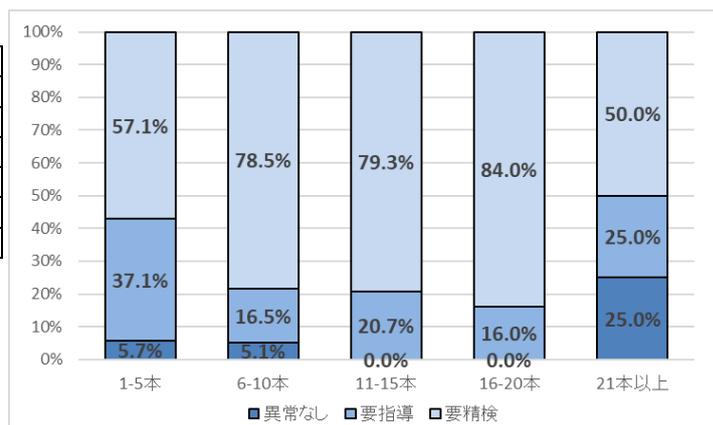


※CPI(歯周ポケットの計測)  
 0：健全(良好な状態)  
 1：出血あり(歯肉に軽い炎症あり)  
 2：歯石あり(歯石がついている状態)  
 3：歯周ポケット 4~5 mm に達する  
 4：歯周ポケット 6 mm に達する  
 ×：除外歯

## ■ 1 日喫煙本数と診査結果 ■

喫煙ありと回答した方 210 人中、1 日喫煙本数の回答をした方は 197 人であった。  
 1 日 11~15 本、16~20 本喫煙のある群には異常なしが見られなかった。

たばこ(本/日)	診査結果			割合			計
	異常なし	要指導	要精検	異常なし	要指導	要精検	
1-5本	2	13	20	5.7%	37.1%	57.1%	35
6-10本	4	13	62	5.1%	16.5%	78.5%	79
11-15本	0	6	23	0.0%	20.7%	79.3%	29
16-20本	0	8	42	0.0%	16.0%	84.0%	50
21本以上	1	1	2	25.0%	25.0%	50.0%	4
合計	7	41	149	3.6%	20.8%	75.6%	197

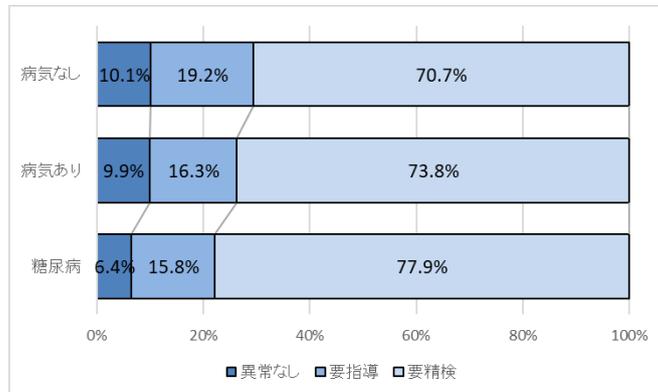


平成25年度～平成30年度 累計資料

■ 糖尿病との関連～診査結果～ ■

平成25年度～平成30年度受診者12,283人中、治療中の病気のある方は3,948人(32.1%)、治療中の病気のうち糖尿病治療中の方は438人であった。

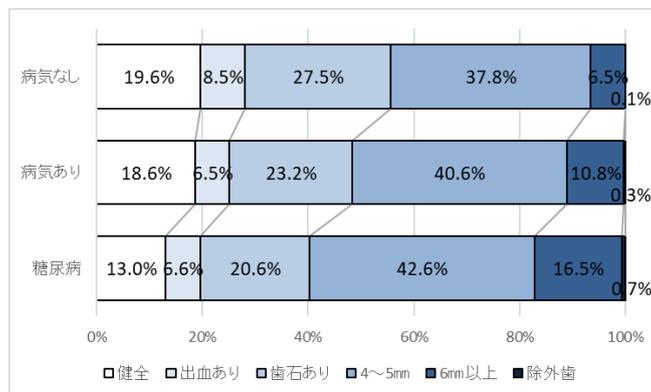
糖尿病治療中の方の要精検の割合は、病気なし・病気ありに比べて高率であった。



■ 糖尿病との関連～CPI～ ■

糖尿病治療中の方の歯肉の状況(CPI)をみると、59.1%が「3(4～5mmのポケット)」  
「4(6mm以上のポケット)」であり、病気なし・病気ありに比べると高率であった。

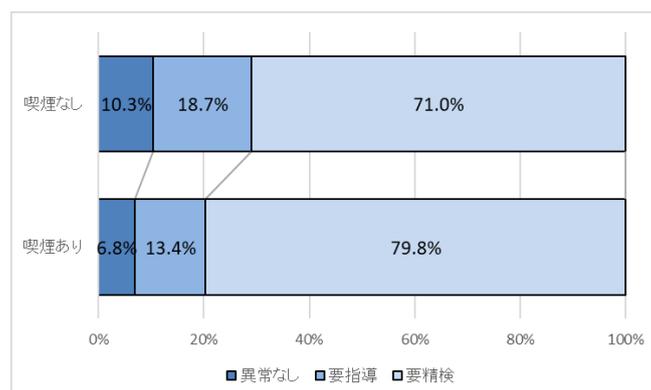
※0：健全、1：出血あり、2：歯石あり、3：歯周ポケット4～5mmに達する、4：歯周ポケット6mmに達する、×：除外歯



■ 喫煙との関連～診査結果～ ■

平成25年度～平成30年度受診者12,283人中、喫煙ありは964人であった。

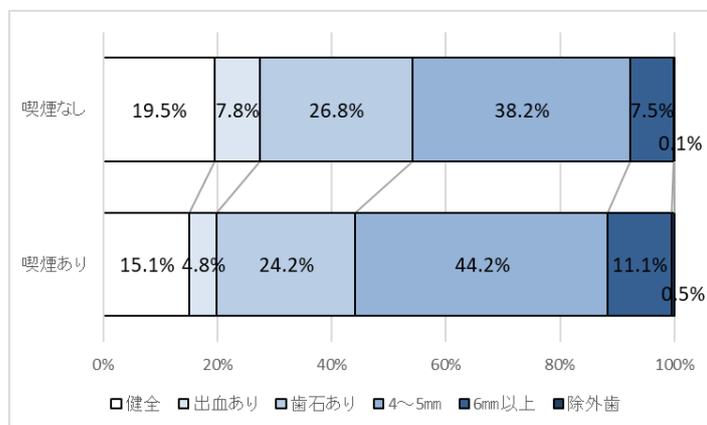
喫煙ありの要精検の割合は、喫煙なしに比べて高率であった。



## ■ 喫煙との関連～CPI～ ■

喫煙ありの歯肉の状況（CPI）で見ると、55.3%が「3（4～5 mmのポケット）」、「4（6mm以上のポケット）」であり、喫煙なしと比べると高率であった。

※0：健全、1：出血あり、2：歯石あり、3：歯周ポケット4～5mmに達する、4：歯周ポケット6mmに達する、×：除外歯



## ■ 1日の喫煙本数と診査結果 ■

喫煙ありと回答した方 964 人中、1日喫煙本数の回答をした方は 878 人であった。

1日 21 本以上の喫煙のある方の 87.8%が、要精検であった。

一日の本数が増えていくにつれ、要精検の割合も高くなった。

たばこ (本/日)	診査結果			割合			計
	異常なし	要指導	要精検	異常なし	要指導	要精検	
1-5本	12	31	100	8.4%	21.7%	69.9%	143
6-10本	28	40	268	8.3%	11.9%	79.8%	336
11-15本	11	17	105	8.3%	12.8%	78.9%	133
16-20本	7	23	195	3.1%	10.2%	86.7%	225
21本以上	1	4	36	2.4%	9.8%	87.8%	41

